

SDG s

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



近年では、スーツを着た偉い人達は、放射状に色を配色したドーナツ型の胸章を付けていますが、SDGsを頑張ってますということなのかなと思います。SDGsは、左の画像で知られていますが、Sustainable Development Goals = SDGsとして、持続可能な開発のための17の国際目標があり、その下に、169の達成基準と232の指標が決められています。一応、17の目標を書き出してみます。

1. 貧困をなくそう、2. 飢餓をゼロに、3. すべての人に健康と福祉を、4. 質の高い教育をみんなに、5. ジェンダー平等を実現しよう、6. 安全な水とトイレを世界中に、7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに、8. 働きがいも経済成長も、9. 産業と技術革新の基盤をつくろう、10. 人や国の不平等をなくそう、11. 住み続けられるまちづくりを、12. つくる責任つかう責任、13. 気候変動に具体的な対策を、14. 海の豊かさを守ろう、15. 陸の豊かさを守ろう、16. 平和と公正をすべての人に、17. パートナーシップで目標を達成しよう

ということで、これらで2030年以降も“持続可能な社会”を実現させ続けるのだそうです。

正論で、反対しづらい事柄が並べてありますね。しかし、考えなきやイカンのは、「では、なぜ、今のままでは持続不可能なのか？」ってことで、簡単に言ってしまうと、欧米を中心とした先進国が、世界中の資源や労働力を浪費して、栄耀栄華を極めたツケとも言えます。

さて、どうやったら限られた資源を有効活用するかですが…恐らく江戸時代の日本のシステムは大いに参考にすべきでしょう。なにせ江戸時代の日本は鎖国した結果、この狭い国土で数百年、努力して、工夫して、そこにあるもので生きるしかなかったわけですから。

もちろん、鎖国した分、科学・軍事技術発展が遅れたために、黒船来航で右往左往し、英国等のスポンサーを受けた倒幕勢に江戸幕府は滅ぼされる結末になるわけですが、しかし、江戸時代の長い天下泰平の中での循環持続社会としては当時世界一のシステムで、SDGsに最も近い社会的発展を実現してたと考えます。

陸・海・川などの産物・資源を育てつつ使いつつ、修理できるものは修理し、廃棄物から排泄物まで有効活用。

鋳掛屋、たがや、竈師、ロウソクの流れ買い、古傘買い、古椀買い、木っ端売りに付け木売りなど、今で云うリサイクル的な商売が確立し、無駄を徹底的に省きました。それこそカマドの灰に至るまで使い切る徹底ぶりです。

農業は、刈敷、草木灰、人糞、厩肥など自給肥料が生産を支え、養蚕、綿などの産業向けには、穫れ過ぎるイワシを利用(干鰯)。水路整備も高低差だけを使い(モーター等を使わず)玉川上水を引くような高度な土木技術。寺子屋では老若男女区別なく学べた意味でも西欧よりジェンダーフリーで、人材も活かし、治安もよく清潔な社会。要は「足るを知る」江戸時代。日本人の、もったいない精神の根源。

まあ、「超超超大盛り焼きそば」を「ウケけるう～」と言って現代日本国民に「足るを知る」などと説教したところで響かないでしょうけど。でも、OECDでの順位も低落傾向の日本、今後は江戸のリサイクル精神が大事かもですね。

CONTENT

Page2

2022.9

311

No.

DRUG SAFETY UPDATE

医薬品安全対策情報

・プラケニル錠 ・サイラムザ点滴静注液

Page2~4

・医薬品安全性情報が出ないので、代わりに、右の記述の解説的な話を。
鋳掛屋やら竈師やら、今の人がわからない職業の紹介とか、OECDの順位の話など。

重要

速やかに改訂添付文書を作成します

プラケニル錠

399 他に分類されない代謝性医薬品

ヒドロキシクロロキン硫酸塩

改訂箇所	改訂内容
[11.1重大な副作用]追記	肝機能障害: AST、ALT、 γ -GTPの上昇等を伴う肝機能障害があらわれることがある。

サイラムザ点滴静注液

429 その他の腫瘍用薬

ラムシルマブ

改訂箇所	改訂内容
[11.1重大な副作用]追記	血栓性微小血管症: 破砕赤血球を伴う貧血、血小板減少、腎機能障害等が認められた場合には、投与を中止、適切な処置を行うこと。

OECDでみた日本の傾向

OECDとは、経済協力開発機構の略です。OECDのHPを見れば、「より良い暮らしのためのより良い政策の構築に取り組む国際機関」と説明されています。現在の加盟国は38カ国で、並べると、

- ・EU加盟国が22カ国。ドイツ、フランス、イタリア、オランダ、ベルギー、ルクセンブルク、フィンランド、スウェーデン、オーストリア、デンマーク、スペイン、ポルトガル、ギリシャ、アイルランド、チェコ、ハンガリー、ポーランド、スロヴァキア、エストニア、スロベニア、ラトビア、リトアニア。

- ・その他の国が16カ国。日本、イギリス、アメリカ合衆国、カナダ、メキシコ、オーストラリア、ニュージーランド、スイス、ノルウェー、アイスランド、トルコ、韓国、チリ、イスラエル、コロンビア、コスタリカ。国名を並べると、いわゆる大国や先進国ばかりではないですね。

さて、昔、日本は世界第二位の経済大国と言われましたし、今でも、そこそこ贅沢な暮らしやシステムがありますけど、実は、OECD内のランクは、どんどん落ちてます。

たとえば、「労働生産性の国際比較 2021」で示された「一人あたりの労働生産性」では38カ国中28位でした。数字でいうと、2020年の日本の一人当たり労働生産性は、78,655ドル(809万円)で、ポーランド(79,418ドル/817万円)エストニア(76,882ドル/791万円)レベルなので、東欧・バルト諸国と同水準ですね。欧州でも低い方の英国(94,763ドル/974万円)やスペイン(94,552ドル/972万円)にも大いに負けてます。

日本の「時間当たり労働生産性」は、49.5ドルでOECD加盟38カ国中23位と、一人当たり…よりも少しマシになってます。ただし、米国(80.5ドル/8,282円)の6割レベルですね。

これからますます少子化になるわけで、つまり労働者が少ない世の中でもあり、消費者が少ない世の中になります。「労働生産性＝成果(売上・利益など)÷労働投入量(人数・時間)」ですので、無駄が多いと、労働投入量が増える上に、人口減少で売上も減るわけです。でも、役所の規制や書類は多くて効率悪いし、電子化も進まないし。

そういえば、先般のTVニュースで「高校生の制服が先輩のお下がりのリサイクル」と明るいニュースのように報じてました。さて、どう思いますかね。私はバイトで学校制服売りをして、支店で2位の成績を上げたこともあります。新しい制服で入学式に送り出してあげて下さい、お母さん!」の声掛けでガンガン売りました。そういう時代ではなくなった、つまり「新しい制服は無駄」と考える時代になったわけです。ネットでも「制服のおさがり文化」…つまり文化とまで表現される時代。SDGsでしょうね。私は寂しいですが。

なので、これから江戸時代の節約文化へ戻るような生活になっていくでしょう。

江戸時代の節約文化：SDGs関連で考えること

1ページ目で、江戸時代のリサイクル関連の職業をいろいろと挙げてみましたが、さっぱりわからない人も多いと思いますので、学研のHPからの引用で一部だけ紹介しますが、実際、江戸のリサイクル業は、1000ほどあったと記述しているものもあります。



引用元：<https://www.gakken.co.jp/kagakusouken/spread/oedo.html>

江戸社会は、古紙再生に限らず使える物は修理・再生しながら、徹底的に使い回した。ゴミまでが燃料、肥料、埋め立て用に区別され、町並みはとてもきれいだった。日本を訪れた当時の外国人達は、町の清潔さに一様に驚いたという。



↑古着屋

普段着は古着が当たり前。商人の古着屋、回収業の古着買い、再生業の古着仕立屋の分業が確立していた。



←蠟燭の流れ買い
溶けた蠟を集めて再生する。



↑古傘買い

壊れた傘を下取りして再生する。破れた油紙は味噌や魚の包装紙に、折れた骨は燃料にする。

木っ端売り→
建材や廃材の木っ端を集め薪として売ったり付け木屋に売る。



←付け木売り
木っ端などを薄く削り、硫黄を塗って発火燃焼材として売る。



↓空き樽買い
使用済みの樽を回収、問屋に売って再利用する。



↑灰買い
かまどの灰を買い集める。灰は肥料として灰市などで売られる。



↑ほうき買い

新品と交換するが、古いシユロのほうきは、解いて縄にしたり、たわしに再生する。

